



福岡医発第 1927 号 (地)

平成 25 年 11 月 8 日

各医師会長 殿

福岡県医師会

会長 松田 峻一良

(公印省略)

「第 22 回全国救急隊員シンポジウム」の開催について (ご案内)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、第 22 回全国救急隊員シンポジウム北九州市実行委員会より、標記シンポジウムを一般財団法人救急振興財団との共同主催により開催する旨、別添の通り案内が参りましたのでお知らせ致します。

今回のシンポジウムでは、「この道“救急救命”より、我を生かす道なし。～新たな風を北九州から～」をメインテーマとし、「新たな病院前救護体制とこれからの救急救命士に求められるもの」と題した久留米大学病院の坂本照夫先生による特別講演や教育講演、一般発表、参加型プログラムであるスキルトレーニング等が企画されております。

つきましては、本シンポジウムについて貴会会員にご周知いただき、多数ご参加いただけますよう、ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

記

△と き 平成 26 年 1 月 30 日 (木)、31 日 (金)

△ところ 西日本総合展示場 新館 (北九州市小倉北区浅野 3-8-1)

北九州国際会議場 (北九州市小倉北区浅野 3-9-80)

△次 第 別添プログラム参照

小郡三井医師会より

救急医療担当理事 島田昇二郎

会長 蒲池 壽

22全救シ実行第31号
平成25年10月21日

関係機関 各位

第22回全国救急隊員シンポジウム
北九州市実行委員会
委員長（北九州市消防局長） 石松 秀喜
（公 印 省 略）

「第22回全国救急隊員シンポジウム」の開催について（ご案内）

紅葉の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本市では全国の救急隊員等を対象に、平成26年1月30日～31日の2日間、「第22回全国救急隊員シンポジウム」を一般財団法人救急振興財団との共同主催により開催する予定です。

今回は、「この道“救急救命”より、我を生かす道なし。～新たな風を北九州から～」をメインテーマとして、特別講演「新たな病院前救護体制とこれからの救急救命士に求められるもの」をはじめ、教育講演や一般発表のほか、参加型プログラムであるスキルトレーニング等を企画しております。

救急業務の高度化と救急隊員のレベルアップを図るために、広く関係職員の皆様方にご参加いただけますようご配慮いただくとともに、この機会に貴職のご参加を心よりお待ちしております。

記

1 日 時

平成26年1月30日（木）、31日（金） 2日間

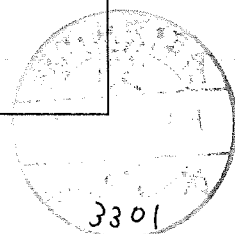
2 会 場

西日本総合展示場 新館（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1）
北九州国際会議場（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）

3 その他

別添プログラム、他を参照願います。

[第22回全国救急隊員シンポジウム北九州市実行委員会事務局]
北九州市消防局総務部総務課内
〒803-8509 北九州市小倉北区大手町3-9
TEL：(093) 582-3802 FAX：(093) 592-6898
担 当：橋本（清）、川崎、森



「第22回全国救急隊員シンポジウム」実施計画

1 実施日

平成26年1月30日（木）・31日（金）の2日間

2 実施場所（2施設開催）

「西日本総合展示場 新館」北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号

「北九州国際会議場」北九州市小倉北区浅野三丁目9番30号

3 主催等

（1）主 催

北九州市消防局、一般財団法人救急振興財団

（2）後 援

消防庁、厚生労働省、福岡県、公益社団法人日本医師会、一般社団法人
日本救急医学会、一般社団法人日本臨床救急医学会、全国消防長会、
財団法人全国市町村振興協会

（3）協 力

公益社団法人福岡県医師会、社団法人北九州市医師会

4 対象者

（1）救急隊員及びその他の消防職員

（2）都道府県、市町村等の消防防災関係職員

（3）医療関係者

（4）その他関係者

5 開催規模

参加者等は、延べ5,000人程度

6 名 称

「第22回全国救急隊員シンポジウム」

7 メインテーマ

この道“救急救命”より、我を生かす道なし。 ～新たな風を北九州から～

第22回全国救急隊員シンポジウム			基本理念(案)		
メインテーマ 「この道”救急救命”より、我を生かす道なし。」 ～新たな風を北九州から～ 平成26年1月30日(木)・31日(金) 【西日本総合展示場 新館／北九州国際会議場】			わが国における救急業務は法制化から50年を迎えますが、その間に救急隊員の処置範囲の拡大、救急救命士制度の導入、メディカルコントロール体制の構築及び傷病者の搬送・受入に関する実施基準の策定など、様々な高度化を遂げています。 近年、救急需要は大幅に増加し、平成24年には救急出動件数、救急搬送人員ともに過去最多を記録しています。また、今後高齢化などの要因により救急需要は益々増加することが予測されています。 一方、救命率の向上や後遺症の軽減など、病院前救護に対する期待は大きく、我々が果たす役割は益々重要となっています。 そのため、少年期からの応急手当の教育、重症傷病者への救急救命処置の拡大、社会全体で共有する緊急度判定(トリアージ)の検証、救急現場への医師の投入など、様々な角度から新たな病院前救護の取り組みが始まりました。 このように病院前救護体制は、社会全体で変化を遂げようとしており、まさに飛躍のステージを迎えたと言えます。 我々病院前救護の担い手は、このような環境の変化に即応し、救命の最前線である救急現場で尊い命を救う者として、今一度一人ひとりが果たすべき責任と役割を見つめ直し、次へのステップに新たな決意を持って挑みます。 そして、この大いなる決意を、市制50周年を迎え、また、全国で初めてである二度目のシンポジウム開催都市「北九州市」から、全国の病院前救護に携わる皆様へ発信していきます。		
西日本総合展示場 新館 第1会場(A展示場):収容人員 最大2,300人			北九州国際会議場(メインホール):第5会場:収容人員585人		
8:30 開場・受付					イベントホール
9:30 【開会式】	挨拶: 北九州市長・一般財団法人救急振興財団 紹介: 消防庁・厚生労働省・福岡県・公益社団法人日本医師会・一般社団法人日本救急医学会 一般社団法人日本臨床救急医学会・全国消防長会・財団法人全国市町村振興協会 公益社団法人福岡県医師会・社団法人北九州市医師会 報告: シンポジウム運営委員長				
10:15	休憩(15分)				
10:30	【特別講演】 「新たな病院前救護体制とこれからの救急救命士に求められるもの」 講師: 坂本 照夫(久留米大学病院) 司会: 古井 秀之(北九州市消防局)		(80分)		【市民公開講座】 救急車の上手な使い方 ～いざというときのために知っておきたい知識～ 講師: 伊藤 雪絵(消防庁) 司会: 鳥越 昭宏(岡山市消防局)
11:30	休憩(50分)				
12:20	西日本総合展示場 新館		北九州国際会議場		
	第1会場 A展示場:収容人員 最大2,300人 【パネルディスカッション1】 病院前救護に関する教育体制 ～救急救命士以外の救急隊員及び 通信指令員に対する教育について～ 座長: 正代 莊一(北九州市消防局) アドバイザー: 横田 順一朗(市立塚病院) パネリスト: 野嶋 俊彦(千葉市消防局1部1町1部事務組合消防指令事務協議会) 名取 正晴(横浜市消防局) 興 俊二郎(神戸市消防局)	第2会場 311～313会議室:収容人員220人 【教育講演1】 救急救命士処置拡大、その後の評価 ～救命士制度の更なる進展に向けて～ 講師: 野口 宏(愛知県医師会) 田中 剛(厚生労働省) 司会: 尾形 昌弘(広島市消防局)	第3会場 314・315会議室:収容人員190人 【一般発表1】 座長: 高橋 浩(久留米広域消防本部) 助言者: 山下 典雄(久留米大学病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	第4会場 G展示場:収容人員170人 【一般発表2】 座長: 池松 英治(熊本市消防局) 助言者: 奥本 克己(熊本赤十字病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	第5会場 メインホール:収容人員585人 【シンポジウム1】 救急需要対策 ～頻回に利用される方への対応について～ 座長: 竹内 栄一(東京消防庁) アドバイザー: 大木 實(福岡県医師会) 齋藤 秀生(消防庁) シネカスト: 長谷川 孝(厚生労働省) 今川 秀樹(札幌市消防局) 室中 誠(さいたま市消防局) 三浦 敏也(大阪市消防局) 木村 慎幸(北九州市消防局)
				第6会場 国際会議室:収容人員200人 【一般発表3】 座長: 橋本 義弘(救急救命九州研究所) 助言者: 高松 学文(救急救命九州研究所) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	第7会場 第21会議室:収容人員150人 【一般発表4】 座長: 古市 修二(救急救命東京研究所) 助言者: 徳永 尊彦(救急救命東京研究所) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分
13:20	休憩(20分)		休憩(20分)		
13:40	【スキルトレーニング1】 救急救命士心肺停止前トレーニング ～POT～ 講師: 南 浩一郎(救急救命東京研究所) 尾形 純一(救急救命東京研究所) 指導者: 松澤 勉(救急救命九州研究所) 小笠原 英昭(救急救命東京研究所) 白石 龍章(救急救命東京研究所) 石川 幸史(救急救命東京研究所) 司会: 本間 雄大(相模原市消防局)	【シンポジウム2】 全国のWSの取り組み 座長: 定岡 由典(消防庁) アドバイザー: 伊藤 重彦(北九州市立八幡病院) シネカスト: 印藤 昌智(札幌市消防局) 佐藤 潤(沼津市消防本部) 広瀬 俊夫(新潟市消防局) 中丸 浩昭(横浜警署消防局) 川上 喜太郎(神戸市消防局) 原田 正公 (国立病院機構 熊本医療センター)	【一般発表5】 座長: 安森 亮二(別府市消防本部) 助言者: 嶋海 篤志 (国立病院機構 別府医療センター) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分	【一般発表6】 座長: 前田 友幸(福岡市消防局) 助言者: 梅村 武寛(福岡大学病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分	【教育講演2】 社会全体で共有する緊急度判定事業 ～検証結果報告と今後の展開～ 講師: 有賀 徹(昭和大学病院) 司会: 中村 充男(堺市消防局)
14:00				【一般発表7】 座長: 長野 文彦(飯塚地区消防本部) 助言者: 鮎川 勝彦(飯塚病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分	【一般発表8】 座長: 井上 弘一(八女消防本部) 助言者: 西中 徳治(健和会大手町病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分
15:10	休憩(20分)				
15:30	【スキルトレーニング2】 BLS (基本手技の再確認) 講師: 畑中 哲生(救急救命九州研究所) 山浦 賢智(救急救命九州研究所) 大田 大樹(救急救命九州研究所) 指導者: 梅田 智之(救急救命九州研究所) 伊勢 直(救急救命九州研究所) 吉野 公明(救急救命九州研究所) 河本 雄一郎(救急救命九州研究所) 重松 伸治(救急救命九州研究所) 内田 宗晴(救急救命九州研究所) 稲垣 修二(救急救命九州研究所) 司会: 山崎 裕介(救急救命九州研究所)	【ミニレクチャー1】 救急業務管理講座 座長: 日野原 友佳子(消防庁) 講師: 清野 洋一(秋田市消防本部) 神崎 友章(松江市消防局) 赤澤 精二(大和市消防本部) 中井 正平(豊中市消防本部) 中越 仁志(高宮市消防局) 木下 仁史(宮崎市消防局)	【一般発表9】 座長: 菊地 勲(静岡市消防局) 助言者: 登坂 直規(静岡県立総合病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	【一般発表10】 座長: 越口 匡浩(松本広域消防局) 助言者: 岡元 和文 (信州大学医学部付属病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	【教育講演3】 小児救急の特徴 講師: 市川 光太郎(北九州市立八幡病院) 司会: 日野 俊昭(北九州市消防局)
15:40				【一般発表11】 座長: 瀬辺 正信(宗像地区消防本部) 助言者: 長瀬 貴一(北九州総合病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	【一般発表12】 座長: 安留 秀起(和歌山市消防局) 助言者: 加藤 正哉 (和歌山県立医科大学附属病院) 発表者: 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分

西日本総合展示場 新館				北九州国際会議場			
第1会場 A展示場:収容人員 最大2,300人	第2会場 311~313会議室:収容人員220人	第3会場 314・315会議室:収容人員190人	第4会場 G展示場:収容人員170人	第5会場 メインホール:収容人員585人	第6会場 国際会議室:収容人員200人	第7会場 第21会議室:収容人員150人	イベントホール
開 場							
8:30							
9:00	【シンポジウム3】 (90分)	【パネルディスカッション2】 (90分)	【一般発表13】 (90分)	【ライブセッション】 (90分)	【ミニレクチャー2】 (90分)	【一般発表14】 (90分)	【一般発表15】 (90分)
	今後の救急救命士の教育のあり方 ～教育体制の課題と指導的立場の救命士の役割～ 座長: 竹中 ゆかり(救急救命九州研修所) アドバイザー: 山口 芳裕(杏林大学) シンポジスト: 定岡 由典(消防庁) 結城 由夫(仙台市消防局) 山口 誠(千葉市消防局) 石原 剛(東京消防庁) 浜野 武志(金沢市消防局) 永松 泰明(福岡市消防局) 佐々木 祐司(尾三消防本部) 本多 英喜(横浜箕井立うわまち病院)	消防機関以外の公的機関で活躍する救急救命士の現状 座長: 緒方 毅(東京消防庁) アドバイザー: 佐々木 勝(東京都立広尾病院) 辻 友馬(厚生労働省) パネリスト: 江崎 正和(第七管区海上保安本部) 航空自衛隊 苗本 徳之(陸上自衛隊) 加古 嘉信(近畿警区警察局)	「 」 座長: 片倉 哲也(石巻地区広域行政事務組合消防本部) 助言者: (医療関係者) 発表者: (7名) 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:11分	周産期医療 ～産科分娩等の事例研究～ ～分娩介助実技訓練～ 講師: 荒牧 聡(産業医科大学病院) 指導者: 石田 麗子(産業医科大学病院) 持田 香代子(産業医科大学病院) 浦園 綾子(産業医科大学病院) 赤司 香織(産業医科大学病院) 川畑 あゆみ(産業医科大学病院) 内村 福美(産業医科大学病院) 司会: 幸種 星義(松山市消防局)	救急活動上の訴訟問題 ～紛争防止を考える～ 講師: 丸山 富夫(神戸市消防局法令研究部顧問) 司会: 栗岡 由樹(神戸市消防局)	「 」 座長: 北川 伸二(村緑地区広域市町村圏組合消防本部) 助言者: 蔵本 雄一郎(佐賀大学) 発表者: (7名) 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分	「 」 座長: 村上 宏(新潟市消防局) 助言者: (医療関係者) 発表者: (7名) 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分
10:30							
10:40	休憩(20分)						
10:50	【総合討論】 (90分)	【シンポジウム4】 (90分)	【教育講演4】 (90分)	【スキルトレーニング3】 (90分)	【パネルディスカッション3】 (90分)	【一般発表16】 (90分)	【一般発表17】 (90分)
	救急業務高度化へ向けての課題と解決策 座長: 日野原 友佳子(消防庁) アドバイザー: 行岡 智男(東京医科大学) パネリスト: 坂本 哲也(帝京大学) 梶野 健太郎(厚生労働省) 郡山 一明(救急救命九州研修所) 菅堤寺 浩(札幌市消防局) 矢島 務(東京消防庁)	地域における応急手当普及啓発について 座長: 清川 智弘(京都市消防局) アドバイザー: 石見 拓(京都大学) 佐藤 浩樹(文部科学省) シンポジスト: 小川 雅司(仙台市消防局) 新倉 哲夫(愛川町消防本部) 高田 隆平(宝塚市消防本部) 出田 徹(出雲市消防本部) 林田 純人(大阪市消防局) 井川 英士(北九州市消防局) 平沼 智(さいたま市教育委員会)	大規模災害等多数傷病者発生時の対応について 講師: 小井土 雄一(災害医療センター) 司会: 平中 隆(横浜市消防局)	小児の初期評価法 心肺蘇生法・外傷処置法 ～PALS～ 講師: 神島 淳司(北九州市立八幡病院) 松島 拓哉(北九州市立八幡病院) 田口 健龍(北九州市立八幡病院) 後藤 良(北九州市立八幡病院) 竹井 寛和(北九州市立八幡病院) 増井 美苗(北九州市立八幡病院) 司会: 福島 浩明(北九州市消防局)	女性救急隊員の更なる活躍に向けて 座長: 石原 房江(市川市消防局) アドバイザー: 伊藤 雪絵(消防庁) パネリスト: 安田 のり子(仙台市消防局) 小池 久理子(東京消防庁) 大神田 多恵子(増穂原市消防局) 平野 由衣(浜松市消防局) 塾 みゆき(岐阜市消防本部) 青井 純子(岡山市消防局)	「 」 座長: 徳重 貴洋(遠賀郡消防本部) 助言者: 真弓 俊彦(産業医科大学病院) 発表者: (7名) 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分	「 」 座長: 佐次田 悠平(宜野湾市消防本部) 助言者: 豊里 尚己(沖縄県立中部病院) 発表者: (7名) 進行要領等説明:3分 発表時間:7分 質疑応答:4分 助言者まとめ:10分
12:10							
12:20	総括: 運営委員長 (15分) 閉会式 《挨拶》 開催地: 北九州市消防局 次期開催地: 札幌市消防局						
12:35							

参 加 の ご 案 内

1 参加費・受付について

(1) 参加費

「第22回全国救急隊員シンポジウム」の参加費、資料代は徴収いたしません。

(2) 受 付

「西日本総合展示場 新館」2階（ガレリア）及び「北九州国際会議場」1階にて行います。
（開催日前の事前申し込みは不要です。）

【受付方法】《受付開始時間》 平成26年1月30日（木）・1月31日（金）両日8時30分

- ① 「西日本総合展示場 新館」2階（ガレリア）又は「北九州国際会議場」1階の「参加者受付」にて、ネームカード及び抄録集をお受け取り下さい。
- ② 記入台で必要事項（所属・氏名等）を記入していただきます。
また、アンケート用紙を併せてお渡ししますので、ご協力をお願いいたします。

2 宿泊等について

宿泊等の手配については、各自で行ってください。

シンポジウム参加者向けの宿泊等のご案内を、専用ホームページ

《 <http://www.kitakyushu50th.jp/22sinpo/> 》よりご参照ください

で行っていますので、是非ご利用ください。

3 昼食について

西日本総合展示場 新館「C 展示場」において飲食物販売コーナーを設置しておりますのでご利用ください。

4 ホームページでの情報提供について

「第22回全国救急隊員シンポジウム」専用ホームページ(<http://www.kitakyushu50th.jp/22sinpo/>)にて、運営に関する情報を随時更新して公開しておりますので是非ご参照下さい。

◆お問い合わせ◆

運営委員会事務局

一般財団法人救急振興財団

企画調査課 長嶋・引間・石井

TEL 042-675-9931 FAX 042-675-9050

E-mail sinpo@fasd.or.jp



第22回 全国救急隊員シンポジウム

市民公開講座

救急車の上手な使い方

いざ

というときのために
知っておきたい知識

みんなで
考えよう!

救急車や救急医療は
限りある資源です!

救急車を正しく上手に使う
ための知識を身につけて、
安心して暮らせる社会を
つくっていきましょう。



平成26年

1月30日 木

10:00~
オープニング
セレモニー

10:30~11:30

10時から北九州市消防音楽隊による
オープニングセレモニーを行います。ぜひご参観下さい。

会場 北九州国際会議場 1階 メインホール

北九州市小倉北区浅野3-9-30

【講師】 総務省消防庁 **入場無料** ※事前申込み不要です。
なお、席に限り(定員585名)がありますので、ご了承ください。

お問い
合わせ

一般財団法人 救急振興財団... TEL:042-675-9931
北九州市消防局... TEL:093-582-3802

ホーム
ページ

第22回 全国救急隊員シンポジウム ホームページ
<http://www.kitakyushu50th.jp/22sinpo/>

全国消防
イメージ
キャラクター
消太



結び合う ちから
未来へ 響きあう